

⑤地域とともに発展していくための社会貢献活動について

1 現在の取組状況

企業庁では、地域社会の一員として地域や社会に貢献していくため、次のような活動に取り組んでいます。

(1) 施設見学の受入等

①小学校の授業の一環などとして浄水場や発電所への見学者の受入や出前トークを実施

	見学者の受入			出前トーク	合 計
	浄水場	発電所	少 計		
平成 22 年度	5,849 人	87 人	5,936 人	316 人	6,252 人
平成 23 年度	5,659 人	217 人	5,876 人	30 人	5,906 人
平成 24 年度	7,472 人	183 人	7,655 人	300 人	7,955 人
平成 25 年度	6,532 人	246 人	6,778 人	596 人	7,374 人

※平成 25 年度は 12 月末までの人数

②夏休み期間中（8月上旬）に3浄水場（播磨浄水場（桑名市）、高野浄水場（津市）、多気浄水場（多気町））の一般公開を実施

<近年の合計来場者数>

平成 22 年度…563 人、平成 23 年度…599 人

平成 24 年度…904 人、平成 25 年度…835 人

<当日の様相>



<施設内見学（播磨浄水場）>



<浄水処理の実験（高野浄水場）>

③夏休み期間中（8月下旬）に小学生と保護者を対象とした浄水場、発電所、工業用水道ユーザー様の工場を見学するバスツアーを平成 23 年度より実施

<参加者数>

平成 23 年度…20 組 40 名（1 コース）、平成 24 年度…38 組 76 名（2 コース）

平成 25 年度…40 組 80 名（2 コース）

(2) 地域イベント等への協賛、参加

君ヶ野ダム桜祭り（津市）、奥香肌湖春祭り（松阪市）、大台町水上カーニバル、こどもエコフェア（環境学習情報センター：四日市市）、おやこ水質研究室（みえこどもの城：松阪市） 他

(3) スポーツ・レクリエーション施設としての開放

①伊坂ダム、山村ダム（四日市市）の周辺施設を地域住民の憩いの場やサイクリングコースとして開放

②伊坂ダムを県内のカヌー競技活動のために無償で貸出

③奥伊勢湖（三瀬谷ダム：大台町）を漕艇場として開放



<伊坂・山村サイクリングコース>

(4) 災害発生時の支援に備えるための取組

①浄水場や調整池を利用し一時的な給水ができる「震災時の応急給水拠点」を県内 13ヶ所に整備

②水力発電所に非常用浄水設備（3ヶ所）や炊飯装置・電熱コンロ（2ヶ所）を整備

③災害発生時の現地での支援活動

○東日本大震災での活動（平成 22～23 年度）

- ・宮城県松島町での応急給水活動の実施
- ・宮城県内の工業用水道施設の復旧支援活動の実施

○紀伊半島大水害での活動（平成 23 年度）

- ・熊野市、紀宝町での応急給水活動の実施
- ・紀宝町での浄水処理に関する技術支援活動の実施



<震災時の応急給水拠点>



<東日本大震災での応急給水活動>

2 今後の取組について

今後の事業運営では、新たな視点に基づく取組も含め地域や社会に貢献する取組を実施し、地域や社会からの期待に応えていくことが必要ではないかと考えています。